

令和7年度土地家屋調査士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の土地家屋調査士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

○ 午前の部

【第11問】

- 問1 座標値から夾角及び距離を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問2 夾角及び距離から座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問3 2つ直線の交点の座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問4 座標法による面積計算の基本的知識を問うもの
- 問5 図面の正確な作成を求めるもの

○ 午後の部

【第21問】

- 問1 問題文に記載された事実関係及び資料から、与えられた座標値を用いてD点及びK点の座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問2 土地の筆界についての基本的知識及び理解に基づき、問1で算出した座標値から座標法を用いた面積計算をすることを求めるとともに、地積測定の公差や地積に関する更正の登記についての正確な知識及び理解を問うもの
- 問3 問2で検討した事項、問題文に記載された事実関係及び資料から、土地の筆界の位置及び依頼人の依頼内容を的確に把握した上で、申請すべき登記の内容（土地の地積更正・分筆の登記）を正確に読み取ることを求めるとともに、その登記の申請書に添付する地積測量図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの
- 問4 問題文に記載された事実関係及び資料から、問1で算出した座標値及び与えられた座標値を用いてJ点及びL点の座標値を求める計算の知識を問うもの
- 問5 問3で検討した事項、問題文に記載された事実関係及び資料から、依頼人の依頼内容を的確に把握した上で、申請すべき登記の内容（土地の分筆の登記）を正確に読み取ることを求めるとともに、その申請情報及び添付情報の内容並びに登録免許税の額についての正確な知識及び理解を問うもの

【第22問】

- 問1 問題文に記載された事実関係及び資料から、依頼人の依頼内容を的確に把握した上で、申請すべき登記の内容（主である建物の取壊しに伴い附属建物を主である建物に変更することなどを内容とする建物表題部変更登記）を的確に読み取ることを求めるとともに、その申請情報及び添付情報についての正確な知識及び理解を問うもの
- 問2 問題文に記載された事実関係及び資料から、申請すべき登記の内容（新たな附属建物の新築や、既存の附属建物を取り壊して再築することなどを内容とする建物表題部変更登記）を的確に読み取ることを求めるとともに、その申請情報及び添付情報についての正確な知識及び理解を問うもの
- 問3 問題文に記載された事実関係及び資料から、床面積の算入の可否や取り壊した附属建物と再築した附属建物の同一性についての正確な知識及び理解を前提として、問2の登記の申請書に添付する各階平面図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの
- 問4 表示に関する登記の申請義務やその履行期限及び義務違反に対する制裁についての正確な知識並びに理解を問うもの